

学級だより

にこにこ

福山市立有磨小学校 2年生

NO.21

2025年(令和7年)1月1日

輝け 二十四の瞳

14日間の冬休みも終わり、三学期がスタートしました。冬休みの間、揺れることなく子どもたちを待っていた運動場のブランコや教室の中に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。冬休み前の学級だよりで、「この時期でしかできない体験や経験をしよう」と話をさせていただきましたが、経験や体験を通して、一回り大きく成長することはできたでしょうか。何もしないなかでの成長はありません。体験の中で成功したり失敗したりすることで、失敗しない方法を考えたり、工夫することが生まれたりします。そのことで、今までの自分を成長させます。その子どもたちの成長をしっかり見て、三学期は、三年生に向けてさらに大きく成長させていきたいと思っています。

三学期から、新しい仲間が増えます。道上小学校から、安井麻央(やすいまお)さんが有磨小学校に来てくれました。道上小学校は、福山市の全部の小学校87校のうち、6番目の大規模校で、全校590名、二年生だけでも86名で、有磨小学校全校児童と同じくらいの人数です。こんな大人数の学校からきて、教室内の広々とした様子や教室の数の少なさに驚かれたでしょうね。また、休憩時間には、運動場を広く使えたり遊具をゆったり使えたりするところも、有磨小学校の良いところです。早く学級や学校生活に慣れてほしいと思います。でも、なかなか自分から声をかけづらかったり、どこに何があるか分からなかったりするときがあると思います。そんな時は、2年生全員で助けてあげて欲しいと思います。

安井さんを含め、二年生が全員で12人になりました。1952年に発表された壺井栄さんの「二十四の瞳」という本があります。瀬戸内海の小豆島を舞台に、女学校を出て岬の分教場に来た大石先生と、その年に小学校に入学した12人の子どもたちのふれあいの中で、戦争時の苦しみや悲しみの中でたくましく生き抜いていった姿が描かれた作品です。少し難しいかもしれませんが、図書室からその本を教室に借りてきていますので、一度読んでみてほしいと思います。小豆島というと、「オリーブ」と「しょうゆ」を思い浮かべますが、「二十四の瞳映画村」もあります。映画製作で作られた分教場やボンネットバスなど、映画の中で使われた多くの物が展示されています。

作品の中に出てくる子どもたちのように、二十四の瞳がさら輝くように、楽しい3か月を過ごしていきたいと思います。でも、子どもたちの学力や生活力を高めるために**ピンピン**いきます。お家の方のご協力を、引き続きお願いします。

【麻央さんを紹介します】

わたしの好きな食べ物は、カレーライスとマスカットです。好きな飲み物は、三矢サイダーやソルティライチです。また、好きな乗り物は、ひこうきです。図工で絵を描くことが好きです。休憩時間などは、ブランコでよく遊びます。

はじめは、ちょっと緊張しましたが、ちょっとずつ慣れてきて、早くたくさんの友だちができたらいなと思っています。

